

あで姿に多くの人が集まる

鷹巣地区厄払いお披露目行進

厄払い行事が、2月1日に市内各地区の神社で行われ、こ の1年の厄年を無事に過ごせるよう祈願しました。

この日、鷹巣神社で行われた合同祈願式には33歳の厄年 の31人が丸まげや黒留袖姿で参加し、宮司のお祓いを受け たあと、玉串を奉てんし、今後の無病息災を祈願しました。

このあと、地域の方々へ感謝を伝え、商店街のにぎわいづ くりに一役買おうと、銀座通り商店街でお披露目行進が行わ れました。古式ゆかしい和装姿を見ようと、商店街には多く の人やカメラマンが集まり、シャッターを切る人やあで姿に 感心する人でにぎわいました。





ダブル主治医で健康を守ろう

北秋田市移動研修会

北秋田市移動研修会が、1月27日に合川公民館で行われ、 北秋田市民病院の佐藤誠先生を講師に迎え「ダブル主治医 制ってなあに?」と題して講演がありました。

佐藤先生は、患者サポートセンターの創設やかかりつけ医 と市民病院専門医の密接な連携による「ダブル主治医制」の 取り組みや市民病院外来での狭心症、冠動脈狭窄症、下肢動 脈の狭窄などの治療が可能になったことを紹介。また、救急 外来でのトリアージシステム導入により治療の遅れを減らす 取り組みなども紹介し、「緊急な対応が必要な場合はいつで も市民病院を受診してください」などと話しました。





昔ながらの遊びに大興奮

白い風と遊ぼう2020

遊び体験イベント「白い風と遊ぼう」が、2月8日に市民 ふれあいプラザと米代児童公園を会場に行われました。

市民ふれあいプラザでは、紙芝居などの読み聞かせが行わ れたほか、けん玉やこまなどの遊び道具が並び、木工遊びや 縄内体験ができる体験コーナーも設置され、子どもたちは遊 び方をスタッフに聞きながら、楽しんで遊んでいました。

米代児童公園では「雪だるま仮装コンテスト」が行われ、 家族連れや保育園の園児たちがバケツやシャベルを使って、 雪像の形を作ると、最後にカラースプレーでカラフルに色づ けをし、完成を喜んでいました。





北秋田の味を求めにぎわう

第26回北秋田市もちっこ市

第26回北秋田市もちっこ市が、2月8日と9日に大太鼓 の館駐車場で行われました。

開会セレモニーのあとには、恒例の餅まきが行われたほか、 おしるこの無料サービスにも多くの人が集まりました。大太

も行われ、来場した 子どもたちも小さな 杵を持って、餅つき に挑戦していました。 会場のテントでは ほし餅や大福、おや き、バター餅などの ほか、米粉を使った スイーツや漬物、黒 ニンニク、冬野菜な ど地元名産品や特産 品が並び、北秋田の 味を求める大勢の買

いました。





長きにわたる人権擁護活動へ感謝

人権擁護委員感謝状伝達式

令和2年1月1日をもって人権擁護委員を退任された三浦 欽一さん(75歳・三木田)と柴田節子さん(61歳・五味堀) の法務大臣感謝状の伝達式が、津谷市長立ち会いのもと1月 15日に市役所で行われました。

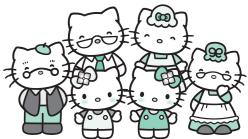
三浦さんは平成20年1月から令和2年1月まで12年、柴 田さんは平成25年10月から令和2年1月まで6年3か月の 長きにわたり人権擁護活動に尽力されました。

秋田地方法務局大館支局長から三浦さんへ感謝状が伝達さ れたあと、市長から労いの言葉が贈られました。(当日は柴 田さん欠席のため後日感謝状が贈呈されています)



市内のいろいろな出来事を紹介します







地域の財産を守る火災訓練

文化財防火デー火災想定訓練

令和2年文化財防火デーに伴う火災想定訓練が、1月25日 に正法院 (鎌沢地区) で行われました。

火災想定訓練は、正法院から出火し、強風によって鎌沢地 区全体に延焼拡大するとの想定のもと通報、初期消火、避難 誘導、火災防ぎょ、中継送水などの訓練を行いました。

閉会式では佐藤教育長が「地域の財産を大切にし、火災な どから守り後世に引き継ぐことは私たちの責務です。日頃か ら防災に努めるとともに、万が一の際には自治会の対応と協 力が必要となるため、その際はご助力をお願いします」など と呼びかけました。





粘り強く点が伸びるように

「点が伸びる合格祈願バター餅」 贈呈式

高校受験を間近に控えた1月24日に、北秋田市内の中学 3年生に日本バター餅協会(村井松悦会長)から「点が伸び る合格祈願バター餅」が贈られました。

鷹巣中学校で行われた贈呈式では、3年生85人が参加の もと、村井会長から生徒代表の西根尋さんにバター餅が手渡 されました。

このあと生徒を代表して、藤島礼桜さんが「みんな一生懸 命受験勉強を頑張っている。いただいたバター餅を食べて、 バター餅のように粘り強く、そして点が伸びるように勉強を 頑張りたいと思う」などと決意を述べました。



広報きたあきた 2020.3.1